

# 付託された議案・請願等を審査 委員会の

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

## 建設

8月28日、9月12日・13日・20日に議案16件、請願3件、認定1件の審査を行いました。

**委員** 当初、ばら会が認識していた4000平方メートルが、2800平方メートルと1200平方メートル減ったが、それが若干の変更と理解されると考えているのか。

**公園緑地課長** 実際にバラが植栽されている部分の面積は約1150平方メートルと把握をしています。そのことも含め、実際にバラを植栽するスペース、園路の幅、ばら広場のしつらえとして鑑賞することに問題ない面積ということ、約3000平方メートル程度あれば、十分であると考えています。

**野津田公園バラ広場の現在地の存続・拡充を求める請願及び、野津田公園ばら広場の移転計画の再検討を求める請願を一括審査**

**委員** ばら広場移転のスケジュールと、市が今後、ばら広場をどのようにつくり上げていきたいのか確認したい。

**公園緑地課長** スケジュールは、現在、請願継続の結果を尊重し、新しいばら広場の実施設計の発注をまとめている状況ですが、早々に実施設計の発注を行いたいと考えています。また12月ごろからバラの移植に向けた根切りを行う予定です。来年度は、新しいばら広場の整備工事及びばら広場の移転予定です。新しいばら広場の姿ですが、誰もが安心して訪れることができ、園内のバリアフリー化とか、公園の中央に移転することで、ばら広場を知らなかったお客様も取り込んでいきたい。そして、バラの香りを存分に楽しめる、よりよい環境としていきたい。

## 文教社会

9月12日・13日・17日・20日に議案10件、請願1件、認定1件の審査を行いました。

**町田市印鑑条例の一部を改正する条例**  
印鑑登録についても旧氏での登録が可能に

**委員** 改正に伴って市民にどういったメリットがあるのか。

**市民課長** 職場で旧姓を使用している方にとっては、例えば、住民票をとったときには旧姓も表記され、なおかつ印鑑についても旧姓で登録ができるということになります。

**委員** どういった場合に使えるのか、わかれば伺いたい。

**市民課長** いわゆる公に現在の氏だけでなく旧姓もというところでの証明になりますので、契約行為等をするときの公的な証明という形になります。システムについては改修

が必要でしたが、もうそちらについてはできています。

**委員** 使うときは何か届出が必要か。もう既に氏が変わって何年かたっている場合に、旧姓に関して届けをするときに、どうやったらスムーズにいくのか。

**市民課長** まず申し出をいただいた方だけ記載するので、全員に旧氏を表記するわけではないこと。旧姓がわかる戸籍簿本をお持ちいただいで、申し出をいただくという手続になります。

**委員** 姓が変わったことによって、手間がかかることがあるので、こういうことができませんというPRもしっかりとさせていただければと思うが。

**市民課長** 今後、周知等もしていきますので、窓口等のご案内に際しては、丁寧に説明をさせていただきます。

### 決算審査（建設）

#### 認定すべきものと決定

- 指定喫煙所の設置については、民間事業者との連携も視野に入れ、更なる受動喫煙防止に努められたい。特に小田急町田駅西口前バスセンターペデストリアンデッキ下喫煙所については、閉鎖型に改良されたい。
- 災害廃棄物の処理対策について、廃棄物の置き場の確保や分別処理など具体的な対策を推進されたい。また、災害廃棄物処理マニュアルの策定についても、早期策定に努められたい。
- 指定収集袋の料金については、市民生活への影響を鑑み、値下げをはじめとした市民負担軽減策を検討されたい。また、市民活力の活用として、地域資源回収事業についても、更に浸透されるよう努力されたい。
- リレーセンターみなみにおいて、可燃ごみの中継施設、プラスチック資源化施設として安全に安定して稼働できるよう市の指導、監督の役割を果たすよう関与されたい。
- 「市民通報アプリ・まちピカ町田くん」の普及啓発については、より一層認知度の向上を図られたい。
- 私道整備及び移管事業においては、申請済案件の実行に過度な遅滞が発生しないように予算の確保を行い、積極的に推進されたい。
- アセットマネジメントにより道路補修する際、必要があれば歩道の改修もあわせて行うことを検討されたい。
- 自転車利用の環境整備を一層促進されたい。
- 鶴川駅北口広場整備事業及び南土地区画整理事業については、地権者、町内会及び商店会等関係者への情報提供、意見聴取を引き続き丁寧に継続されたい。
- 小山田桜台・多摩南部地域病院間（唐木田）運行事業については、利用者数を一層拡大することも視野に入れ、土日も運行し、定期券、シルバーパスの利用も可とし、多摩センター駅への停車など、停留所の地元要望の対応など、路線充実を図るよう積極的に取り組まれたい。
- 小野路球場の利用者が過去最大になっている。ネーミングライツや企業広告の導入を検討されたい。
- マンホールトイレについては、近年頻発する災害に備えて、より一層効率的に設置されたい。

など計76件の意見を附帯決議として付しました。

### 決算審査（文教社会）

#### 認定すべきものと決定

- 適正な予算執行のために、不用額や流用の原因が発生した場合は、早期に補正を組むように努められたい。
- 集会施設の維持管理について、説明会等、積極的に周知するよう努められたい。
- DVについての相談窓口（被害者、加害者）の更なる周知や、児童虐待との関連について関係課と連携を強化されたい。
- 幼児用及び小中学生の自転車乗車時のヘルメットについて、購入費用の補助や無償配布など実施できるか検討されたい。
- 2018年度の特種詐欺発生件数は、多摩26市の中で町田市が一番多い。特種詐欺被害が減少するように、都への働きかけのみならず、市として対策を強化されたい。
- 利便性向上ため、証明書のコンビニ交付推進に努められたい。
- 保育施設等へ通園している乳幼児の情報については、保健所の子育て家庭への訪問を効率良く行うために、よりスムーズかつタイムリーな保健所との情報共有に努められたい。
- 地域子育て相談センター事業について、潜在家庭への家庭訪問が2019年度から本格的に実施される。業務量の増加が予測されるため、人員の増加を検討されたい。
- 子どもクラブ建設においては、地域の要望などに耳を傾け、市所有の未利用地の活用などをし、早期に建設を進められたい。
- 発達検査結果については、早期発見・早期療育につなげるため速やかに診断されるよう、関係機関との連携を更に強化されたい。
- 就学援助の申込みについて、更なる周知に努められたい。
- 日本語を母国語としない子どもたちの日本語支援の充実に、引き続き努められたい。
- 子どもセンターを巡回するなど、移動図書館を活用し、子どもたちが本に触れる機会を増やすように努められたい。
- 2018年度にスポーツ広場が2カ所廃止になった影響を受けた市民の受け入れ策を、引き続き検討されたい。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、まちだサポーターズの拡充と、町田市民の気運醸成の為の活動を進められたい。

など計92件の意見を附帯決議として付しました。

#### 委員会で附帯決議

建設常任委員会では、付託された案件のうち、第79号議案町田市立陸上競技場観客席増設工事請負契約について原案を可決すべきものと決し、採決終了後に下記の附帯決議を付すべきものと決しました。

#### 第79号議案に対する附帯決議

- 本工事においては、今後工事を進めるにあたり、地元企業育成の観点から最大限に地元事業者への配慮をされたい。また、今後の入札等に当たっては、総合評価方式を検討する等、条件において地元企業育成、地域経済の発展、事業の地域社会貢献も考慮し方策を決められたい。

#### 本会議の結果

8月28日の本会議において、第79号議案は賛成多数を持って可決されました。

#### 第16期町田市議会改革調査特別委員会を開催

9月17日、10月15日に開催され、下記の付議事件について審査が行われました。

#### 付議事件

- ①議員の調査活動等に関する事項
  - ②議会の権能強化及び環境整備に関する事項
  - ③市民と議会の関わりに関する事項
  - ④議会の情報提供に関する事項
  - ⑤議員の身分等に関する事項
- の調査・検討

#### 委員会提出議案【文教社会常任委員会】

東京都に対し、幼児教育保育無償化に伴う保育園の主食費・副食費徴収について、自治体間で差が生じないよう財政支援を行うことを求める意見書

10月からの幼児教育保育無償化に伴って保育園の3歳～5歳児について主食費・副食費の実費徴収が始まる。低所得世帯、多子世帯への免除制度はあるが、その実費徴収額について、自治体によって保護者負担が異なっている。さらに、自治体間で無料化する自治体数を比較すると、23区は無料化する自治体が多く、多摩地域との差が生じている。どこに住んでも、保護者負担に差がないようにする必要があると考える。

よって、町田市議会は、東京都に対し、幼児教育保育無償化に伴う保育園の主食費・副食費徴収について、自治体間で差が生じないよう財政支援を行うことを求める。

東京都知事ほか1件宛て